

校長会報

令和7年度 第1号
発行所
島根県小学校長会
事務局
松江市母衣町 55
県教育会館内
TEL (0852) 27-8530
FAX (0852) 67-3360

未来社会を創るしまねの子どもたちの 姿を見据え 連携・協働して

島根県小学校長会長

佐藤 淳
(松江市立大庭小学校)



ご昇任の新会員の皆様、ようこそ島根県小学校長会へ。六年前に校長となったとき、何でも相談できる江津市小中学校長会の存在はとても心強いものでした。県小学校長会も皆様にとって価値ある存在でありたいと思います。

現会員の皆様にとって、県小学校長会の存在はどのようなものでしょうか。市町村校長会と比べれば、やや遠い存在ではないかと想像します。昨年度鹿足支部にお世話になった研究大会が一番に思いつく活動ではありませんか。

島根県小学校長会は、会員の連携と協働により、皆様の学校教育推進のお役に立てるよう活動しています。主なものをご紹介します。(詳細は三頁に)

【つながる】

今年度から県小学校長会主催の研修は会場固定の研修会と会場持ち回りの研究大会を一定の間隔で実施します。十月三日出雲での研修会は分科会協議を中心とし、全会員が一堂に会することとで親睦を深める機会ともなることを期待しています。ご発表いただくみなさまお世話になります。

【学び合う】

島根県・中国・全国の研究大会等への参加を通して、校長が学び合う機会を提供します。どうぞ学びを得るためにお出かけください。大きな大会は、特に経験の少ない方にとって大きな刺激となるはずです。私もたくさん学ばせていただきました。

【つとめる】

島根県教育委員会や国へ皆様の意見・提言を届けます。これは、県内全小学校長が加入するからこそ、全公立小学校長が加入する全国連合小学校長会だからこそできる活動です。

皆様の代表で構成され、県校長会の方向性を決める理事会(年五回開催)も充実したいと考えています。

全連小・中国校長会など上部組織からの報告・連絡も大切ですが、支部代表の理事同士の協議や情報交換をより大切にしていきたくと考えています。皆様の学校にある課題は歴史の中の垂直方向あるいは日本全小学校の水平方向の中に解決策があると考えています。会員の皆様におかれましては、理事会の場に市郡校長会からのご意見・ご要望あるいはこんな情報を求めているといった声をお届けください。県内外の実践に基づく知見がきつと見つかるはずですよ。

たくさんの仲間を支えていただいて

前島根県小学校長会長

安達利幸

四月終わり、第一回理事・評議員会に遅参した私を出迎えていただいたのは、県内各地で組織を取りまとめたいただいている校長先生方の笑顔でした。勤務する市郡は異なれども、明日の島根を担う人づくりを尽力する同志の温かさに触れ、改めて素晴らしい仲間恵まれて仕事をさせていたただいてことに感謝の気持ちがいっぱいでした。同時に、新会長、副会長のもと、各市郡の役員の皆様、事務局幹事の皆様方には、教育を取り巻く厳しい局面に敢然と立ち向かい、特色ある学校経営を展開しておられる多忙な中でそれぞれの役割に従事されていることに對し、敬意と感謝の念を覚えずにはいられません。

私自身は令和三年度からの四年間にわたり組織に関わらせていただきましたが、途中、自校の状況の厳しさから十分に課せられた役割を果たすことができずご迷惑をおかけした時期もありました。しかし、そんな時にも多くの方が支えてくださったからこそ、何とかこうして任を全うすることができました。特に昨秋の教育研究大会では、主管いただいた鹿足郡の校長先生方の熱意と周到な準備によって多くの成果を上げることができ、その絆の強さを感ずることができました。今後、学校数の減少等により組織運営は難しさを増しますが、ぜひとも一枚岩で難局を乗り越えられるよう願っています。結びに、すべての校長先生方の今後益々のご活躍とごどもたちの幸せを心から祈念し、お礼かたがた退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

夢や希望の実現のために

副会長 小山 美子

(松江市立佐太小学校)



今年度、島根県小学校長会は、結成七十五周年の節目の年です。その年度に副会長を務めさせていただけることに、身の引き締まる思いでいます。微力ではございますが、佐藤会長が示された活動方針をもとに自分の責任を果たし、皆様のお役に立てるよう、精一杯努めていきたいと思っています。

学校は、子どもたちが、成長する瞬間に出会い、多くの人とつながりあり、喜びあえる素晴らしい場所であると思います。しかし、現在、学校を取り巻く状況は大変厳しいと言わざるを得ません。令和六年八月の中央教育審議会答申において、「教師を取り巻く環境は、我が国の未来を左右しかねない危機的状況であり、抜本的な改革が必要である」と示されました。島根県の教員不足という観点から見ると、令和七年四月一日段階で、県内公立学校の教員の欠員数が過去最多の六十四人、その内小学校の欠員数は二十一名でした。常勤を配置することができず、非常勤を配置する学校も多くあります。そんな厳しい環境の中で、校長先生方は、多くの課題に立ち向かい、子どもたちの健やかな成長と、よりよい学校を目指し、学校運営に尽力されてお

れます。今年度、対策部長として、皆さんの声をまとめ、県教委や県人事委員会に届け、本来の「魅力ある職場、憧れの職場」となるよう努力してまいります。今年三月に示された「しまね教育振興ビジョン」には、

誰もが誰かのたからもの

人とのふれあい、つながりによる学び 子どもたち一人ひとりの夢や希望の実現がうたわれていきます。ビジョンの実現を目指し、将来の日本を築くしまねの子どもたちの健やかな育成のために、皆さんと一緒に連携・協働して、校長会の運営に携わってまいります。一年間、よろしくお願いいたします。

子ども達の笑顔のために

副会長 小川 恵美

(出雲市立西野小学校)



社会の多様化が進み、将来の予測が困難な時代になった今、「第四期教育振興基本計画」の学校づくりのコン

セプトとして、「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上」が掲げられています。誰一人取り残すことなく、誰もが生き生きとした人生を享受できる共生社会の実現のために、小学校では何を大切に、何に取り組んでいくべきかを、大きな岐路に立っているといえ

ます。

どこの学校でも校長先生方を中心、持続可能な教育活動へ向けての働き方改革や、教員の自己実現を図るための取組など、教員のやり甲斐向上のための対策は、頑張りすぎるぐらい取り組まれていることと思います。それでも、不登校の児童生徒は依然として増加の一途をたどり、子ども達の自己有用感をはじめとするウェルビーイングに関する指数は調査国中の最下位、また、教員の精神疾患による休職者の増加など、なかなか改善の兆しを感じられません。もはや負のスパイラルに絡め取られているような悲しい気持ちになります。

この現状から抜け出すには、せめて教員だけでも教育を楽しむ気持ちをもつことが必要だと考えます。私はいつも先生方に「子どもを笑顔にしてください。そのためには先生ご自身が笑顔でいてください。」と話しています。「笑顔になれない時はいつでも相談してください。一緒に考えますから。」と付け加えます。もちろん相談を受けても簡単に解決しないことも多いですが、少しでも教員の心が軽くなり、楽しいことを一つでも考えられるようになればと、祈るような気持ちでいます。

「喜ばば、喜びごとが喜んで、喜び集めて呼びに来る」という詠み人知らずの歌があります。学校全体に正のスパイラルが生まれれば、笑顔から出る幸せの波動が共感を呼ぶに違いないと思います。

この一年間、校長会という組織の中で、教員が常に気持ちのギアを「上機

嫌」に入れて、笑顔で子ども達の前に立てるような教育環境に近づけるよう、微力ではございますが力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

「視野」を広げる機会に

副会長 土井 伸一

(江津市立津宮小学校)



今年度、島根県小学校長会の副会長を務めさせていただきました。ことになりました。よろしくお願いいたします。

私は、令和二年度に、この島根県小学校長会の仲間入りをさせていただきました。大田市の学校で二年間勤務し、江津市で四年目の勤務となりました。

いつも自分の学校のことで精一杯で、他校の様子や校長先生方の学校経営に積極的に学ぶ余裕もなく、限られた視野の中で日々を過ごしてきたように思います。

ただ、月に一度集まる市の校長会では、そのような私でも、他の校長先生方の貴重なお考えに触れさせていただくことで、自然と自分の学校経営を振り返る機会をいただきました。本当にありがたいことだと感じています。そして、このような場をこれからも大事にしていきたいと思っています。

この度、県小学校長会副会長の役をいただくことになり、県内の様々な校長先生方と交流をもたせていただく機会も増えそうです。私にとつて、「視野」を広げるチャンスだと感じているところではあります。そのことは、とても楽しみにしており、きつと刺激的なことにちがいないと思っています。

教員になって、はじめの十年は、松江管内で勤務していました。松江や安来の学校の名前を聞くと、懐かしい気持ちになります。ただ、その後は石見部での勤務ですので、離れてしまうと、ずっと遠くに感じてしまいがちです。

県内様々な地域の校長先生方とお話しする機会を生かしながら、他校の様子や校長先生方の学校経営を積極的に学んでいこうと思っています。年間の活動計画の中には、県外での研修活動もあるようです。せっかくの機会を自分の学びとして生かしつつ、少しでも校長としての「視野」を広げながら、皆様のお役に立てるようがんばっていきたいと思います。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



令和七年度 島根県小学校長会 事業計画

1 活動方針

スローガン
「未来社会を創るしまねの子どもたちの姿を見据え 連携・協働して」

島根県小学校長会は、結成以来、本県小学校教育の充実・発展に寄与するため、会員相互のつながりを基盤として真摯に研究と実践を重ねるとともに、教育条件の整備に努めてきた。

スローガンにある「未来社会を創る」とは、教育が目の前の子どものためであると同時に未来社会の形成・創造に大きく関わることを指している。「しまねの子どもたちの姿を見据え」とは、「社会の創り手」としての姿を目標として「見据え・見通す」重要性を述べている。「連携・協働」は校長会の存在意義そのものである。

このスローガンのもと、「つながる」「学び合う」「とどける」を活動の基盤とし、島根の小学校教育を一歩前に進める活動に取り組んでいく。さらに、今年度改訂された「しまね教育振興ビジョン」を基盤とし、幼児期の教育、中学校以降の教育あるいは家庭・地域とのたて・よこの連携も図っていききたい。

2 活動の基盤

(1) つながる 理事会・研修会等を通じた会員相互の情報交換及びコミュニケーションの活性化により、島根の小学校教育及び小学校長会活動の充

実を図る。
(2) 学び合う 島根県研修会・中国研究大会・全国研究大会への参加を通して、校長が学び合う機会を提供する。今年度から会場固定の研修会と会場持ち回りの研究大会を一定の間隔で実施するが、初年度の研修会の充実を図るとともに持続可能なかつ有意義な研修会の在り方を検討する。

(3) とどける 全国連合小学校長会や島根県教育委員会へ島根県小学校長会としての意見・提言を届ける。またその全連小活動及び県教委施策等について会員相互の意見を交換し合う場を大切にする。

3 事業内容

(1) 活動の具現化、事業の推進を図るための校長会理事会、県教委との意見交換会他の会議の開催、関係団体の会議へ出席する。

(4) 理事・評議員会(一回)、理事会(一回)、常任理事会(一回)を開催する。

(2) 理事会は、総務、調査研究、対策、広報の四部会を構成し事業を推進する。

(3) 第三回理事会開催に併せ、県教育委員会との意見交換会を実施する。

(4) 県の関係団体、関係機関が主管する各種会合に役員等として精選して参加し、小学校教育の立場から意見を反映させる。

(2) 学校経営に関する諸課題の解決に資するとともに、本県小学校教育の振興と校長としての職能向上を図るために、「島根県小学校長会研修会」を開催する。
(3) 本県教育の充実を図るため、県中

校長会と「教育条件改善対策委員会」を組織し、関係機関と連携を密にしながら教育諸条件の改善・充実に努める。

(4) 本会の諸活動を記録するとともに会員相互の連携を図るため「校長会報」を発行する。併せて、ホームページを通して諸活動の広報にあたる。

(5) 教育計画や教育活動を記録する「教育記録」の編集を行うとともに、不審の見直しを図る。

4 全国連合小学校長会、中国地区小学校長会との連携

(1) 全国連合小学校長会と連携して教育課題を究明し、課題解決にあたる。

(2) 総会や理事会および各種委員会や担当者会に参加し、全連小との連携を推進する。

(2) 「小学校時報」、「教育研究シリーズ」等の購読を通して自己研鑽を深める。また、全連小の考え方や新しい教育情報、教育改革の動向、全国の校長会の活動を迅速に伝える「全連小速報」を活用し、学校経営に生かす。

(3) 全連小と連携し、陳情・要望活動・実態調査活動を行う。

(2) 中国地区小学校長会と連携し教育課題を究明するとともに、その課題解決にあたる。

(1) 理事会・研修会・連絡協議会(一回)、理事会・研修会(二回)に参加し、連絡調整を図る。

(2) 「第七十二回中国地区小学校長会教育研究大会岡山大会」に参加し、中国地区小学校長会との連携や学びを深める。

新任校長紹介とコメント

「楽しい夢をふくらまそう
われら中央小学校」
教職員、保護者、地域の皆さん
と一緒に創っていきます。



山本 勉
(中央小学校)

子どもを中心に、
教職員・保護者・地域の方々が
笑顔で楽しく過ごせる
「大野笑楽校」をめざします。



曾田 和男
(大野小学校)

子ども達・教職員の皆で、
え 笑顔がすてきな
と 友達を大切にする
も 燃える心で取り組む
学校を目指します。



小室由希江
(恵曇小学校)

「太陽も 風も 友だち」の
来待小学校でいっぱい笑顔に
囲まれています。



村上 幸人
(来待小学校)

自然も心も豊かな宇賀荘で、
教職員と家庭・地域と共に
子どもの笑顔を大切にします。



(宇賀荘小学校)
錦織 栄子

子どもたちの笑顔のために、
教職員、保護者、地域の
皆さんと一緒に頑張ります。



(島田小学校)
島崎 健志

子どもも教職員も、
ひとりひとりが主人公と
なれるような学校づくり
を目指します。



(安田小学校)
樋野 義之

荒島っ子一人一人が
「あかるく」「げんきに」
「なかよく」過ごせる学校を
めざしていきます。



(荒島小学校)
福間 亨

桜が美しい木次町。
熱心な保護者・地域とともに
よりよい学校づくりに励みます。



(木次小学校)
笠柄 秀樹

子どもを中心に、
学校・家庭・地域がつながり、
なかよくなれるといいなと思います。



(佐世小学校)
板垣 恵

教職員、児童、保護者、
地域みんなで
「かがやく旭小学校」を
創っていきたいと思います。



山藤 真樹
(旭小学校)

石見銀の積出港 温泉津で
つながりを大切に
チャレンジしていきます！



和田真紀子
(温泉津小学校)

学校にかかわる人々の
力を合わせて、さらに
『きらめく桜江小学校』を
創っていきたいと思います。



森原 幸司
(桜江小学校)

「◎とと仲良く
㊦んばって勉強
㊧っかり運動」
安全で楽しい学校を
つくります。



勝手 博美
(江津東小学校)

児童・教職員・保護者・地域
の皆さんとの「対話」を大切に
した学校づくりに励みます。



小寺 正登
(川波小学校)

子どもも教職員も
安心して自分の持ち味を
発揮できるあたたかい学校を
めざします！



大野 寛人
(高原小学校)

学び心地・働き心地・
支え心地の良い
学校づくりに
取り組んでいきます。



原 拓
(大和小学校)

子ども、教職員、保護者、地域が
一体となって笑顔があふれる
学校づくりを進めていきます。



高木 優
(阿須那小学校)

コミュニティスクール1年目です。
地域と学校が
連携・協働しながら、
よりよい学校づくりに努めます。



田原 昭久
(桂平小学校)

合言葉「もちあじキラリ!!☆」
子どものもちあじがどんどん育ち
発揮される環境を、
関わる大人も楽しみながら、
みんなで作っていきます。



稲田 章一
(真砂小学校)

「自分がつくる自分の学校」を
合言葉に、子どもたちの
「ワクワク」が
広がる学校づくりをめざします。



高橋 晶子
(青原小学校)

学校・家庭・地域の力を結集し、
六小っ子の笑顔をより
輝かせたいと思います。



福原 英忠
(六日市小学校)

心豊かで、たくましく生きる
都万の子を目指し、
笑顔あふれる学校を
築いていきます。



若本 剛
(都万小学校)



学校紹介

豊かな環境の中で、
成長を続ける学校に

吉田 光 良

(松江市立美保関小学校)

美保関小学校は、北は日本海、南には美保湾と中海、三つの海に囲まれた自然豊かな地域にあります。平成十八年四月に、美保関北小学校、美保関東小学校、千酌小学校が統合してできた本校は、今年度二十周年をむかえます。

本校の特徴について二つ紹介します。一つは木造二階建ての校舎です。集会室という階段状の座席がある多目的ホールがあり、全校集会や学習発表会の場として活用しています。また、回廊上になっている校舎の中央に全面芝生に覆われた中庭があり、こどもたちは上履きのままここで遊ぶことができます。校庭が数百メートル離れている本校にとって中庭は身近な運動場です。他にも、教室と廊下の間に教室半分程度の広さの多目的スペースがあり、遊びや様々な学習の場になっています。工夫のたくさ



ある校舎です。

二つめは、地域に根ざした活動です。五年生は片江地区で行われている交流の場「せんだんカフェ」に参加する活動があります。弁当づくりや接客、地元の名



産品販売の手伝い等、地域のお年寄りと一緒に活動したり、より良い活動とするための話し合いをしたりして、地域貢献を体感できる活動です。他にも三年生が美保神社に出かけて行って、もち花づくり体験をする等、美保関ならではの活動がたくさんあります。地域の人に支えられながら、こどもたちは年間を通して様々な活動を行い、郷土愛を育んでいます。

残念ながら美保関地域も、他地域と同様に人口減少が課題となっていますが、本校ではこれを「より良く変わっていくチャンス」ととらえ、様々な変革に取り組んでいます。広い校舎を掃除するのにこどもたちだけでは人手が足りないということで、地域の方に掃除ボランティアをしていただくことにしました。また、増えた空き教室の一つを活用して、地域の方から寄贈いただいた水槽をたくさん設置し、こどもたちが美保関の海の生き物とふれ合える場所に改装中です。地域の皆さんに協力していただきながら、美保関小学校は様々なチャレンジを続けています。

緑豊かな自然に育まれる学び舎
「すくすく育つあすなっ子」

高木 優

(邑南町立阿須那小学校)

阿須那小学校は、邑智郡東南端の中国山地区内に位置しています。明治八年二月に創設され、かつては五百名を超えていた児童数も、今年度は十五名となっています。

本校では、豊かな自然を活かした体験的な学習活動を積極的に取り入れています。その中でも、全校児童が参加する特色ある二つの活動をご紹介します。

1. 命との出会い…鮎の放流体験

児童たちは、地域の清流である出羽川へと向かいました。軽トラックで運ばれてきた約三千匹の鮎の稚魚を、児童たちはバケツを手に、川岸から丁寧に放流しました。



川へと泳ぎ出す小さな命を見つめる児童たちの瞳は、希望に満ちていました。この体験を通して、児童たちは自然の恵みや命の

大切さを肌で感じる事ができたこと
でしょう。

2. 大地に根ざす学び…田植え体験
学校近くの田んぼで田植え体験を行いました。当日は、太陽が照りつける絶好の田植え日和となりました。

近年、機械化が進む田植えを手作業で行うことは、児童たちにとって貴重な学びの機会です。土の感触を足で確かめながら、一つひとつ苗を植えていく作業を通して、食べ物がつままでの苦労や喜びを実感していました。

一昨年度にはイノシシの被害に遭うという厳しい自然の現実も経験しましたが、今年度こそは豊かに実ることを願いながら、児童たちは真剣に苗と向き合っていました。

これらの体験活動を通して、本校の児童たちは、自然の恵みや地域の皆様の温かさに触れ、豊かな心を育んでいます。今後も、地域との連携を大切にしながら、児童たちの成長を育んでいきたいと考えております。





朝礼講話



なかよし挨拶でなかよくなる♡

板垣 恵

(雲南市立佐世小学校)



今日は挨拶についてお話しします。

校長先生ね、佐世小学校に四月一日に初めて来たんです。佐世小学校ってどんなところだろう、佐世小学校の皆さんは私を受け入れてくれるかなあと心細い気持ちでした。そのとき、ある先生が元気よく「おはようございます。」と声をかけてくださったんです。次に来られた先生もにこにこして「おはようございます。」と言ってくださったんです。それが、とつてもうれしかった。それでね、挨拶をされただけなんだけど、自分が元気になったから、佐世小学校の先生方のことが好きになったんです。もつとなかよくなりたいな、とも思いました。

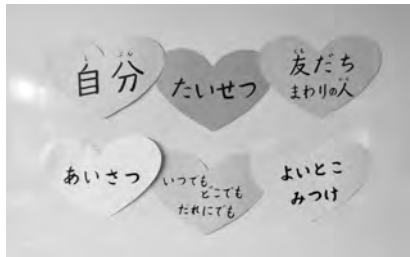
先日、交通安全教室に来てくださった駐在さんが「この四月、佐世小学校の子どもたちは元気に挨拶をしてください。特に下校のとき、はりきって挨拶をしてくれてうれしかったです。」と言っておられました。地域の人や駐在

さんに元気よく挨拶をした人がいるんですね。挨拶は、元気のパワーが出るし、自分と周りの人をなかよくしてくれる不思議な力があるんです。これからも、いつでもどこでも誰にでも合言葉に、相手となかよくなれる、なかよし挨拶を広げていけるとよいですね。

今から、簡単にできる少し変わったなかよし挨拶を体験してもらいます。(簡単な挨拶のエクササイズを短時間実施。)

※エクササイズ後、六年生のある子どもが「目と目を合わせると挨拶がしやすかった。」と感想を言ってくれました。

皆さんが挨拶をしている姿を見ていたら、相手がなかなか見つからず困っている友だちのところへ、遠くから走ってかけつけて挨拶をした人がいましたよ。見ているだけでもやさしい気持ちも伝わってきました。みなさんの中には、今日の挨拶が、少し恥ずかしく思いました。これからもみんなを助けて、力を合わせてなにかよくなれるとよいですね。私はそんなみなさんのなかよしな姿を見つけ紹介していきたいと思っています。



「はあと」でつくる「ことば」でつくる朝波小学校

別所 由紀

(大田市立朝波小学校)



おはようございます。さわやかな良いお天気ですね。四月が終わり

わろうとしています。この三週間、皆さん新しい学年で頑張っていますね。始業式では、「はあと」でつくる「ことば」でつくる朝波小学校にしていきたいとお話ししましたね。今日は、そのことをもう少し詳しくお話します。

今年度、四、五、六年生が行う委員会活動は、これまでの生活と保健の委員会が一緒になって「いきいき委員会」になりました。また、図書と広報の委員会が一緒になって「わくわく委員会」になりました。一つの委員会の人数を多くし、考えを出し合い、アイデアを出し合い、話し合いながら、よりよい朝波小学校を創ってほしいなと思って四つの委員会を二つにしました。先日の委員会活動では、どちらの委員会もじっくりと話し合っていましたね。

また、クラブ活動も新しくなりました。

今年度のクラブ活動は六年生がこんなクラブ活動をしたいと一から創ってくれました。そこに入りたい四年生と五年生が入り、クラブを創ったときのねらいを達成するように、六年生が一年間運営していきます。「はあと」でつくる「ことば」でつくる朝波小学校にぴったりのクラブ活動だなあと思っています。クラブ活動を楽しみながら、考え合って創る力をつけてほしいです。四、五、六年生の皆さん、がんばってくださいね。

そして、始業式には、「ことば」には人をいやな気持ちにしたり悲しい気持ちにしたりする力もあれば、「ことば」には人をうれしい気持ちにさせたり元気にさせたりする力もあるというお話をしました。そこで、皆さんが「ことば」の力を感じたら、校長先生に教えてほしいです。どうやって? このポストです。「朝波小をつくるポスト」です。生活の中で、友達のかなな「ことば」でうれしくなったよ、元気が出たよというとき。また反対に、こんな「ことば」でいやな気持ちになったよ、悲しくなったよということも教えてください。そうやってみんなが、「ことば」の力について考えながら、「ことば」の力で学校を創っていける一年にできるといいですね。皆さんどしどし入れてくださいね。待っていますよ。

令和7年度 島根県小学校長会 役員表

役名	校長名	勤務校	役名	校長名	勤務校
会長	佐藤 淳	大庭	全連小理事	佐藤 淳	大庭
副会長	小山 美子	佐太		小山 美子	佐太
	小川 恵美	西野	全連小代議員	小川 恵美	西野
	土井 伸一	津宮		土井 伸一	津宮
監事	井上 浩子	能義	中国地区副会長	佐藤 淳	大庭
	加藤 道夫	稗原	中国地区理事	小山 美子	佐太
				片寄 泰史	内中原

理事

市郡名	会員数 (学校名)	理事名	評議員名	対策委員名
松江	31	吉田 光良 (美保関)	藤井 康二 (雑賀) 藤原 陽一 (秋鹿)	池田 哲也 (揖屋)
安来	17	Ⓢ 大森 俊一 (母里)	井上 浩子 (能義)	糸賀 昭雄 (赤屋)
出雲	29	内藤 まり子 (遙堪)	加藤 道夫 (稗原) 山本 芳正 (朝陽)	飯塚 積 (平田)
雲南	15	常松 浩 (寺領)	西 裕里 (三刀屋)	横田 輝昭 (田井)
仁多	6	Ⓢ 三島 啓介 (三成)	桑山 悟 (阿井)	Ⓢ 桑山 悟 (阿井)
飯石	4	Ⓢ 角 圭祐 (頓原)	(理事兼務)	Ⓢ 井上 裕史 (来島)
浜田	15	岡本 真美 (松原)	真島 陽一 (弥栄)	田中 岳志 (三階)
大田	13	Ⓢ 下 隅 義久 (五十猛)	川津 康正 (大田)	川田 勝巳 (川合)
江津	7	白井 朋己 (郷田)	小寺 正登 (川波)	佐々木 拳匡 (渡津)
邑智	11	星野 明洋 (川本)	河村 恭子 (矢上)	Ⓢ 高木 優 (阿須那)
益田	14	Ⓢ 岩崎 伸史 (西益田)	小田川 治 (益田)	瀬戸 洋 (吉田)
鹿足	9	大田 謙二 (朝倉)	渋谷 秀文 (津和野)	渋谷 秀文 (津和野)
隠岐	9	Ⓢ 熊本 直宏 (有木)	濱板 健一 (海士)	Ⓢ 若本 剛 (都万)

(会員数 180) Ⓢ印 常任委員会 理事 Ⓢ印 教育条件改善対策委員会 理事 Ⓢ印 小・中代表

事務局幹事

校長名	勤務校	会務分掌	所在地	☎・FAX	校長名	勤務校	会務分掌	所在地	☎・FAX
川本 徹	川津	調査研究	690-0823 松江市西川津町500	0852-21-2507 FAX 0852-21-3760	濱岡 宏行	出雲郷	対策・ 事務局次長	699-0108 松江市東出雲町出雲郷926	0852-52-2069 FAX 0852-52-3846
伊藤 英俊	法吉	対策	690-0863 松江市比津町532	0852-21-4354 FAX 0852-21-4359	金山 剛志	島根	広報	690-0401 松江市島根町加賀1325-1	0852-85-2018 FAX 0852-85-2134
杉原 孝尚	竹矢	調査研究	690-0025 松江市八幡町379-1	0852-37-0535 FAX 0852-37-2814	小室由希江	恵曇	広報	690-0323 松江市鹿島町手結201	0852-82-0065 FAX 0852-82-0931
石橋 裕子	宍道	調査研究	699-0401 松江市宍道町宍道1276	0852-66-0352 FAX 0852-66-0565	片寄 泰史	内中原	総務・ 事務局長	690-0873 松江市内中原町225	0852-22-0300 FAX 0852-21-0833
楨野 吉人	鹿島東	対策	690-0804 松江市鹿島町北講武599	0852-82-0309 FAX 0852-82-0814	建岡 浩子	事務局	総務・ 事務局員	690-0886 松江市母衣町55 島根県教育会館内	0852-27-8530 FAX 0852-67-3360
吉田 卓矢	持田	広報	690-0814 松江市東持田町81	0852-21-3987 FAX 0852-21-9659					

事務局 〒690-0886 松江市母衣町55 島根県教育会館内

TEL (0852)27-8530 FAX (0852)67-3360

E-mail : shimane-syo@gold.ocn.ne.jp